

第2510地区 第11グループ

函館東ロータリークラブ

会報

本日のプログラム

「国際ロータリーアンターシティーミーティング」

於 ロワジールホテル

次週のプログラム 4月23日(火)

「新函館・現函館駅間のアクセス並びに並行在来線、
青函共用走行区間等の開業に向けた取り組みについて」

函館市新幹線対策室 主査 工藤 倫道 氏

奉仕を通じて平和を
心・家族・地域・世界に平和の恩恵を

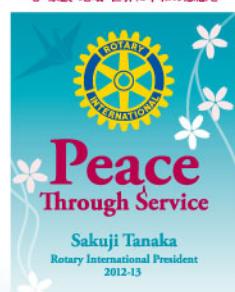
過去に学び 次世代への継承

2012~2013年度 会長 黒島 一生

第2706回 4月20日(土)

2012~2013

- 例会場/ホテル函館ロイヤル TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/ニチロビル4F TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長/黒島一生 ●副会長/戸嶋浩 ●会長エレクト/池垣信一
- 幹事/佐藤真一 ●副幹事/五十嵐正
- 友好クラブ/青森東ロータリークラブ・長崎東ロータリークラブ



第2705回例会 2013年4月9日(火)天候 晴

■ロータリーソング 我等の生業

■司会 黒島 一生 会長

■ビジター

函館RC 日下部 博之 氏

■会長報告

1、新会員紹介 福嶋 貢さん 紹介者 黒島 一生
会長

2、理事会報告

- ①4・5月プログラムについて承認。
- ②会員ご紹介キャンペーン事業報告について承認。
- ③お花見例会事業計画について承認。
- ④社会奉仕委員会植樹検証事業計画について承認。
- ⑤国際奉仕委員会タイ近郊での車椅子寄贈事業報告について承認。又、次年度へ継続の意向。
- ⑥クラブ奨学金支給日程について4月23日承認。
- ⑦その他森RC観桜会日程報告、次回定例理事会時間変更、6月5日現新理事会開催。

■委員会報告

1、親睦活動委員会：観桜家族例会のご案内をいたしました。ご参加くださいますようお願い申し上げます。

■幹事報告

- 1、当クラブ4月30日例会は自主休会へ変更致します。
- 2、5月14日例会は12日観桜家族例会へ変更いたします。
- 3、青森東RCより会報が届いておりますので回覧願います。
- 4、次週例会は20日IMの合同例会へ変更しております。
- 5、18日函館RC、19日函館五稜郭RC、22日函館亀田RC、23日函館北RC例会は夫々移動例会へ変更しております。

「徳川歴代将軍のウソ・ホント！」

南部 知正 会員

徳川300年の将軍のウソ・ホントと題して、一般に知られている事がホントなのか、まったくのウソなのか、今日は面白おかしく語ってみます。

①初代 家康公

皆さんの知っている家康のイメージは、太っていてゆったりと物に動じない恰幅のいい姿を思い浮かべるでしょう。果たしてその実体はどうか？



月間テーマ 雜誌月間

家康の身長は159cm程度、これは岡崎にある徳川松平家の菩提寺「大樹寺」にある位牌の大きさからして実証できる。江戸時代当時の平均身長は男子成年で157cmというデータが残されている。それからして決して大男ではない。普通の体格である。三方ヶ原の戦いで、武田信玄に相手にされず浜松城に逃げ込んだ後日、恐怖の体験として書かせた「しかみ像」で見るかぎり、その体つきは筋肉質でガリガリに見える感じになる男を思わせる。太ったのは中年以後でずんぐりむっくり、現代で云うと加齢臭のする一番嫌われるタイプになっていたであろう。性格はと云うと、口数の少ない寡黙の人であったと云われているが、それはホントであり、随筆「翁草」の中にその事が記されている。家康が生まれたのは岡崎城で、父の広忠は17才、母のお大は15才で今で云うと高校生と中学生の年齢にあたる。もっとも当時は当然の事で決して早いとはならない。生母のお大は家康が3才の時に離別させられ、祖父の清康の姉、お久によって育てられている。しかも6才の時、今川の人質となる所を義理の祖父戸田宗光の松平家裏切りにより織田信秀に百貫文で売られ、2年の人質の後、8才の時には今川氏の捕虜となった織田信弘との交換で今川氏に移り人質として19才まで駿府で暮らすことになる。つまり6才から19才までの14年間、人質生活をした事になるのである。つまりこの事は家康にとって、一生のトラウマとして残るのである。家康には小さい頃から爪を噛む癖があったとされる。これは無意識の内に緊張した時に出る行為であって、小さい時からいつ殺されるかと不安の中でついた自然な行為である。この爪を噛む事はホント！日常生活では用心深く、寝所にはハリをめぐらし、刺客が直接侵入できないようにするなど、食べ物は生ものは口にせず、遊女も寄つけないなど気を使い用心することは絶対忘れなかつたと云う。用心深さは「小心」という気持ちにもつながる。家康という男は物に動じないという男ではなく、慎重実直と云うのがホントである。一般に知られる「タヌキ爺」ではない。また75才の鷹狩の後、夕食で鯛の天ぷらの食あたりで死んだと云われるが、それはまったくのウソで死因は胃ガンである。

②2代 秀忠

家康の3男で長男信康が信長によって自害させられ、次男秀康は秀吉の養子として結城秀康となり、3男の秀忠が将軍を継ぐ事となる。正妻はお江与（信長の妹、お市のかわらの3姉妹の末っ子）であり、お江与22才、秀忠16才の姉さん女房である。この秀忠、一般的に律儀で恐

過去に学び 次世代への継承

妻家と云われている。また芯の強い頭の良い男であつたとされる。お江与に気を使い側室を持たず、お江与1人と云われているが、事実は何人かの女性との関係を持っている。その度にお江与の手にかかり水子として処分された数はあったとされる。上野寛永寺には水子の墓があると云われている。これホント。秀忠の長子は奥女に生ませた長丸という男子がいたが、2才の時、灸がもとで早世している。これもお江与の手にかかりたという話もあるが、これはどうもウソの様である。またお静という女性が身ごもり、お江与の手から守る為、奥の外で生ませたのが幸松と名付けられ、保科家に養子として預けられたのであるが、これが後の保科正之である。お江与は死ぬまで一度も幸松と対面しなかつたのである。なんとこの保科正之は3代家光と4代家綱の後継人として活躍するのである。これホント。また家康の死後、秀忠は徳川家盤石の体制確立の為、39家もの大名を改易にしている。これは徳川家の実権を世に示す手段の一つとして考えて良い。ある意味ではこの秀忠は、冷たい性格の持ち主で、感情を表面に出さない怖い面も持っていたのである。体格もわりと大柄で、毛むくじやらな男だったのである。一般に思われている秀忠の反面は秀忠像を覆す材料の一つであろう。これホント。

③3代 家光

テレビドラマの世界では、美男で格好の良い将軍として登場する。しかしその実像は小男で貧相な男である事が実証されている。一説では言語障害を持っていたと云われ、重臣の者でも話す言葉が理解出来なかつた云うのがホントの事であろう。家光（竹千代）と国松（2男忠長）との確執は皆さんの知る所であるが、ここで登場するのが春日の局であり、名前はお福で家光の乳母である。大奥というハーレムの基礎を築きあげた人物で大奥一番の実力者である。家光将軍の誕生名場面がよくテレビなどで取りあげられるが、どうもこの場面はウソに満ちた話であり、疑い大です。その内容とは将軍世継ぎの決定となった名場面、家康が竹千代を呼びよせ自分のひざの上におき、国松を下に竹千代に従わせる場面である。臣下を決定づける場面である。これは儒教の教え「長幼の序」を重んじる家康の教えであり、この事が将軍後継の基本となるのである。春日の局の要請はホントとしても、重臣一同の目前で

■ニコニコボックス

黒島会長 南部会員 先日の函館市スポーツ功労賞祝賀会おめでとうございます。また、本日の卓話よろしくお願いします。

佐藤真一幹事 福嶋さん 再入会ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

南部会員 函館市スポーツ功労賞祝賀会ご出席ありがとうございました。

松山会員、五十嵐稔会員 福嶋さん 再入会ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

池垣信一会員 6月26日に相田一人さんのセミナーを開催します。感動を共有しましょう。

福嶋会員 よろしくお願ひします。

佐藤美子会員 福嶋さん再入会ありがとうございます。

(株)エイワアルミ産業

松山 茂 会員

美原1丁目45-14 電話 42-0387

示す場面はウソと思われる。後に新井白石は笑ってはつきりと否定している。おそらく春日の局の近い所から流された伝聞であろうと思われる。

④4代 家綱

家光38才の時の子供である。母は側室お楽の方、とても病弱な子供で特別大事に育てられ、11才で將軍となる。残念なのは温順で素直な子供であるが知的障害を持っていたとされる。これホント。生まれる時の何らかのプロセスが障害を起こしたと思う。しかし長き30年もの間、將軍の立場でいたのも、前に記した保科正之と大老酒井忠勝などの重臣による力が大きい。実際の政務は酒井忠勝による事が多く、現代人の悪い言葉で云えば、怒られるかもしれないが「馬鹿殿」と思われるかも知れない。病弱の為、精力に乏しく世継ぎが生まれていない。これにより徳川宗家直系の血筋が絶える事になるのであり、40才で死す。

⑤5代 綱吉

あまりにも有名な將軍であろう。悪名高き將軍として庶民の間からブーイングのあった人物である。また世も元禄時代と云う華やか時だっただけにその事に振り回された將軍であったろう。事件では赤穂浪士、文化では松尾芭蕉、井原西鶴、菱川師宣、近松門左衛門、紀伊国屋文左衛門、市川団十郎、貝原益軒など皆さんの知る人物が活躍した時代でもあります。綱吉の政事で特記されるのは「生類憐みの令」で皆さんの知る悪法の一つであります。この令は重臣柳沢吉保とママゴンの桂昌院の意向が主をしめる。信仰心の強い桂昌院は、護寺院大僧正に隆光を指名し関東真言宗の大本山とし、その隆光が世継ぎ祈祷を桂昌院に吹き込んだのがこの令であります。簡単に云えば隆光が儒教の精神をまげて自分の靈力の強さを見せつけるためであったとされる。これホント。

⑥6代 家宣

綱吉の兄、綱重の長子綱豊である。この將軍は48才での世継ぎである。柳沢吉保をしりぞけ新井白石を登用する。悪法と云われる「生類憐みの令」を廃止し、目立った失政もなく、正徳の治と云われる人柄の良い將軍であった。これホント。徳川歴代將軍の中でも名君の一人にあげられる。

（続きについてお知りになりたい方は、南部までお問い合わせください。）

5月12日観桜家族例会ご参加お願いします。

■広告料 協同組合函館労務協会 黒島一生会長
三光工業㈱ 林完治会員

■出席報告

- 4月9日(火) 47名中出席 31名(免除 2名)
- 3月26日(火) 出席率 76.09%

市内他クラブ プログラム

4月24日(水)	函館北RC	移動例会
4月25日(木)	函館RC	卓話
4月26日(金)	函館五稜郭RC	卓話
4月29日(月)	函館亀田RC	祝日休会

◆ テレfonサービス 26-3170 ◆

(有)おもと薬局

宮崎 あけみ 会員

石川町162-1 電話 34-3500